

医薬化粧品、食品、化学品をつくる「混ぜる技術」のプロフェッショナル

# 【フライミクス 株式会社】探訪記

大阪商工会議所「中小企業の社長と大学生との交流会・見学会」に参加して

大野 慎太郎(桃山学院大学・3年)、岡村 典子(京都女子大学・3年)

清水 康平(桃山学院大学・3年)、徐 アリチャン(大手前大学・3年)

—大学生がみた大阪の中小企業の魅力を発信！—

大阪商工会議所では、大阪で活躍するエネルギッシュな中小企業の魅力を大学生に広く発信するために、中小企業の経営者8名をお招きし、2014年9月24日～10月15日まで毎週1回交流会を、10月2日～11月21日には当該企業の見学会を開催しました。

本内容は、交流会・見学会に参加した大学生がまとめた探訪記です。交流会、見学会とも、短時間ではありましたが、めったにお会いする機会がない経営者の方から大学生が何を学び、何を感じたのかを、ぜひお読みください。

## フライミクスはこんな会社だ！ 交流会・見学会を通して印象に残ったこと、感じたこと

### ◆「混ぜる」にこだわる攪拌機のトップメーカー

- ・1949年に国産初の高速攪拌機を世に送り出して以来、高速攪拌機のパイオニアとして、医薬品、化粧品、食品から、化学、エネルギーなど、幅広い分野で同社の攪拌機は使われています。
- ・今では、攪拌能力を生かし電池生産にも取り組んでいます。

### ◆ブランドを確立し、価値前提全体最適型を目指す会社

- ・人は目先の利益を考え、部分最適に陥りがちです。しかし、安易な妥協で企業の信頼を失うことは大きな損失です。同社は「なりたい会社(あるべき姿)」をブランド化することによって、進むべき方向性を示し全体最適型の会社を目指しています。
- ・この理念を共有するために、社員全員が「ブランドブック」をもち、会社の目指す方向を意識しながら、自らの業務にあたっています。

## フライミクスのココが魅力！ プライミクスをPRしてみました

### ◆顧客本位の会社です

- ・商品やサービス内容にお客様の意見をスピーディーに取り入れる中小企業だからこそできる経営を行っています。
- ・お客様が持ち込んだ製品をテストできる「来社テスト」などを通して、お客様との信頼関係づくりに、積極的に取り組んでいます。

## ◆社員重視の会社です

- ・古市社長のお話をお聞きし、社員の成長が会社の成長であるとのお考えが良くわかりました。社員には、ただ「この仕事をしろ」ではなく、「何のためにこれをしているのか」を理解させて業務にあたらせることによって、モチベーションアップを図っています。
- ・何か気づいたことがあれば記入して投函する「QCDS ボックス」を設置し、社員の声が社業に反映する仕組みをつくっています。
- ・「困難でいいんかい」を設置し、社員の意見を吸い上げより快適な職場環境を整える体制をとっています。



古市社長のお話を聞く



永井執行役員のご案内で社内見学

## 交流会・見学会に参加して・・・

- 社員全員がブランドブックを携帯し、会社がどこを目指しているのか、なぜ今これをしているのかを全員で共通理解できる仕組みをつくられていることは、若手社員にとっても非常に働きやすい職場だと思います。淡路島に本社を移転し、自然あふれる素晴らしい環境の中で仕事ができるなんてとても羨ましいと思いました。
- 見学させていただき、非常に雰囲気の良い会社だと思いました。一人一人が会社全体のことを意識できる仕組みづくりを実践されており、お会いした社員お一人お一人が生き生きと仕事をされているのが、非常に印象に残りました。
- 「社員のことを考える時の優しさ、経営にあたる時の厳しさ」。古市社長の姿がとても印象に残りました。見学を通して、会社として前に進む理由がちゃんとある、進む過程は自分一人ではなく社員皆が一緒に取り組むという同社の姿勢を感じることができました。
- 見学の際には、古市社長、永井さんにとっても親切に対応していただきました。ありがとうございました。女性としてビジネスの社会で活躍されている、永井さんのお話も今後チャンスがあればお聞きしたいと思いました。